

パラレルインターフェース

パラレルインターフェース方式の規格としては、「IDE (Integrated Drive Electronics)」や「SCSI (Small Computer System Interface)」などが挙げられます。

いずれも主流がシリアルインターフェース方式へと移っていったことで、その役割を終えつつあります。

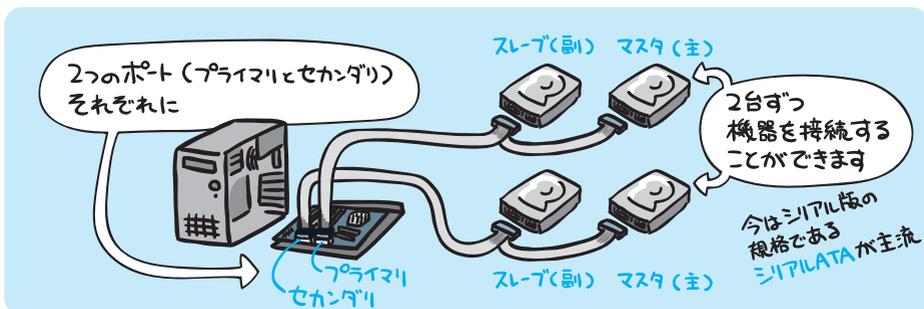


アイディーイー

IDE (Integrated Drive Electronics)

内蔵用ハードディスクを接続するための規格として使われていたインターフェースです。

当初は、「最大2台までのハードディスクを接続できる」という規格でしたが、後にCD-ROMドライブなどの接続にも対応したEIDE (Enhanced IDE) として拡張され、広く普及しました。EIDEでは、「最大4台までの機器 (ハードディスクやCD-ROMドライブなど)」を接続することができます。



スカジー

SCSI (Small Computer System Interface)

ハードディスクやCD-ROM、MOドライブ、イメージスキャナなど、様々な周辺機器の接続に使われていたインターフェースです。

